

## 野洲市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 ■放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

### ■ 目指す姿

地域、保護者の参画のもと、地域全体で子どもの学びや成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互に連携・協働する体制を作っている。

また、学校運営協議会を設置し熟議をする中で、子どもを共通の話題にしながら「ひとづくり」と「まちづくり」をコンセプトに子どもや子どもにかかわる大人を「次世代のまちの担い手」として位置づけ、「地域の活性化」と「地域を愛する子どもたちの育成」を目指している。



【 草津市立志津小学校視察 】

### ■ 本年度の具体的活動

年10回の地域学校協働活動推進員連絡協議会を開催した。各校の推進員同士が互いに実践を見学し合い、活動実践に至る経緯や学校との連携方法を学び合った。また、草津市立志津小学校の地域学習を視察研修し、地域学習や地域学校協働活動の出口を設定することの大切さを学んだ。

小中学校では3年目になり、地域とのつながりを生かしながら、学区の特徴を活かした協働活動が定着しつつある。幼稚園は2年目になり、学校運営協議会制度導入を機に地域とのつながりを構築し、読み聞かせや環境整備、行事に準備から参加し、やりがいを感じながら進めてもらえるようになってきた。

### ■ 本年度の力点

学校運営協議会制度になり3年目となった。手探り状態から、具体的な実践が充実してきたことから、子どもも教師、地域も活動実践をよりよく評価し、振り返ることで、学校と地域の役割分担を明確にすることでより効果的に実践すること、活動の成果を子ども・保護者・教職員・地域との周知・共有を力点とした。

### ■ 課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

地域学習の内容を推進員と共有し、地域連携の調整作業を教職員から推進員にシフトすることで、実践の効率化を図りたい。新しい取組ほど、担任が調整することが必要になるが、実践の過程を共有することで、推進員ができることを増やし、教職員の働き方改革だけでなく、協働活動の継続性も向上させたい。幼稚園については、幼稚園を応援するグループができ、「できる人が、できるときに、できることを」のコンセプトで地域とのより良い関係を広げていきたい。

### ■ 地域学校協働活動推進員の委嘱状況

基本的に各校園に1名ずつ配置しているが、状況にあわせて2名体制や幼小を兼ねて推進している学校もある。現在は13校園で15名に委嘱している。2名体制は4校。2名体制をとることで、相談ができたり、地域の人とのつながりを継承したりすることができている。幼小兼任の推進員は2名。幼小の連動した協働活動ができている。

### ■ 域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

令和5年度より市内小中学校に、令和6年度より市内幼稚園に導入した。野洲市として学校運営協議会へ同席したり、校内研修会で説明したりするなどの伴走支援を行った。



【 地域と教師との交流会 】

### ■ その他

目指す子ども像を共有すべく、複数校で地域の方と教職員の交流会を開催した。どの学校も熟議の中からその必要性を感じて取り組んだ実践である。地域の将来の担い手として子どもたちに地域の歴史を伝えたいという地域の思いや教師のめざす子ども像、地域の願う子ども像を出し合うことで、大変有意義な時間を共有できている。